**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、2024年より平和統一運動を同世代や後に続いていく世代の力とするために、この賞を創設いたしました。

**■今年の募集テーマは「ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス ）」**

SNS（Facebook、X、Instagram、Line、KakaoTalk、TikTok、YouTube など）を通じた在日同胞や海外同胞との出会いや体験。自分が携わってきたプロジェクトにSNSを活用して成功した事例や失敗。そして、そこから得られた教訓など、これらの事を通じて、今の時代に合う平和統一運動をどのようにしたらよいか、またどのような発信が良い影響をもたらすのかなど、様々なエピソードを募集いたします！

|  |  |
| --- | --- |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | **青年スピーチ部門：**  募集日程及び大会日程は、ホームページ及び機関誌『平統解放』にてお知らせ致します。  ※ 第１連合会（北関東・東京・南関東）、第２連合会（北海道・東北）、第３連合会（東海、北信越）、第４連合会（近畿・中国・四国）、第５連合会（九州・沖縄）において、2025年6月15日（日）まで地方予選を行い、それぞれ代表１名を選抜し、本部に映像提出。  **会員及び一般部門　エッセイ募集：**　2025年４月１日（火）～2025年６月15日（日） |
| スピーチ  原稿規程 | **【青年スピーチ部門】**  ５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。  **【会員及び一般部門　エッセイ募集】**  800字以上3000字以内、１人１点。  ※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2025年６月下旬　ホームページにて公開。  入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。  両部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。  その交通費は本部負担。 |

**題名：**「文化の違いを知り、お互いを理解しようとするところに一つになれる」

**お名前：　紺谷祐司**

(下記より本文をご記入ください)

南北統一のためにどうしたら良いか、自分が出来ることは何であるかと思う時に

PEACE ROADプロジェクトを通して、国際交流をなすことができたエピソードを今回発表させていただきます。

昨年7月に韓国でのPEACE ROAD統一大長征に参加させていただき、言葉を超えて、文化を超えて一つになることの喜びを感じさせていただきました。参加後も参加メンバーとも交流を続けています。そのプロジェクトを皮切りに「南北統一」に意識のある方とのつながりがSNSを通して多く繋がっていきました。一度も会ったことのない人である人、一度因縁があり会った方もまたどこかで繋がりが持てるかわからないのでSNSで繋がりを持つようにしています。

その中でSNSからつながりを持ち、たまたま2月にHJ天苑でお会いするときがあり、今回PEACE ROAD2025 福岡〜釜山まで、在日同胞　民団と総連を一つにするため　日韓トンネルのルートを縦走するPEACE ROADに3/２２～２４に参加させていただきました。

3/25に釜山で日本語を話したいという22歳の釜山在住の兄弟が来て、共に食事をしました。彼は日本とも全く馴染みのない中で育ちましたが、独学で音楽やドラマ、映画などで日本文化が好きだということで日本語を学び出したそうでした。

夕食共にして、温泉にも行きました。SNS(インスタ、カカオ)でその場で友達になりました。近いうちに大阪、名古屋、福岡か日本に訪れたいとのことでしたので、私の故郷である石川、金沢に来たらいいよと話ました。写真で有名な観光地である兼六園、金沢駅鼓門など写真で見せてあげる中でいつか行ってみたいですと言われました。

４/１にカカオで連絡があり、金沢に行ってみたいということで連絡が入りました。

それから韓国HJ天苑に4月にいく機会があり、ふと釜山のことを思い出した時に、偶然にも目の前に彼が歩いていて、ふと違うかと思ったけども声をかけると彼でした。今回友人の祝福式に共に参列しに来たと話して、本当に驚く出会いでした。

それからカカオでやり取りしながら、４/２６～２７　金沢、２８～5/１　名古屋、　5/２～６　鳥取、5/７～９　金沢を訪れることが決まり、泊まる家など手配していきました。

日本では、「日本の日常を楽しみたい。」ということで、買いもの、本屋、温泉、カラオケ、自転車、海鮮丼、日常の風景を写真におさめたいということでした。

特急や新幹線、バスなど慣れない環境のなかで、いろんな人に聞きながら、無事に到着しました。日本の食事は和食などは物足らない内容もあると聞きました。看板と風景を合わせて撮ったり、人工的なものと自然なものを融合させていく写真撮ることの目新しさと、

何か観光地を紹介してあげることで良さを感じてもらおうと思いましたが、飾らない自然体のものがすごくヒットするのだと感じることもありました。何気に過ごしていると見落としてしまいそうなこともキャッチする姿勢に見方、とらえ方の違いがあることを感じさせられました。ともに文化を分かち合うことで衣食住の違いなどとらえ方の違いなど感じることができました。　あめやでお土産を買うときに、どこから来られたんですかと聞かれ、会話してカムサハムニダと日本の方の話を交わした内容が印象に残りました。

帰る瞬間までともに時間を共にしたいし、何か別れるのが寂しく感じるまでになった生涯においても忘れることのない期間になりました。

出会ってから４９日。食口になった期間でありました。

道というものが一つにするものになる。道は行き交うところに人が行き交い、物が行き交い、文化の違いを超えて一つにするものになる。そのような平和の道になるようにより日韓トンネルが通るようになれば一つの道につながりより密な関係性が広がることを夢見ながら、送り出す深夜バスの背中を見ながらふと思いました。

国を超えて文化を超えて一つにしていくためには「文化の違いを知り、お互いを理解しようとするところに一つになれる」ことを思いました。

ありがとうございました。

